

平成 30 年 12 月 吉日

賛助会員 各位

一般社団法人日本加工食品卸協会
政策委員会 委員長 山本 泰生
(三菱食品株式会社)
副委員長 角田 憲治
(伊藤忠食品株式会社)
副委員長 内藤 悟
(国分 G 本社株式会社)
副委員長 赤井慎一郎
(株式会社日本アクセス)
専務理事 奥山 則康
〈公印省略〉

長期連休時における受注・出荷配送体制のお願いについて

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より弊協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。さて、現在の消費・流通構造におきましては、小売業の各業態はほとんどが年中無休に近い営業形態をとられております。一方、中間流通業においては小売業の営業体制に合わせて円滑な供給体制を構築すべく研鑽して参りました。ところが年末年始、あるいはゴールデンウィーク、夏期休暇などメーカー様側における長期連休が発生するたびに入荷の集中化、スペースの狭隘さ等から最悪は欠品の発生などが生じているのが実情でありました。したがって弊協会では過去にこうした長期連休時の対策としてメーカー様に特別受注、出荷配送体制をお取りいただくべく要請し、現在はメーカー様と個別に綿密な打ち合わせを行っていただき特別に事前の受注体制やそれに基づく出荷配送体制をおとりいただき供給面の充実を図っていただきました。そうした中で今臨時国会において新天皇即位に伴う即位日休日法が成立し 2019 年のゴールデンウィークは、10 連休になることが決定されました。いままでに経験がないような規模での長期連休となりますので賛助会員各位におかれましては「働き方改革への対応」や物流環境の厳しい状況の中ではございますが、この対応につきまして充分ご検討をいただき会員卸企業と事前に綿密なお打ち合わせをいただきますようお願い申し上げます。 謹白